

# 事務連絡

令和8年6月2日

第34回茨城県中学校混成競技大会兼  
第183回中学校陸上競技記録会 参加団体 様

(一財)茨城陸上競技協会中学校担当

## 参加にあたっての事務連絡について

日頃より本連盟・専門部諸事業にご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。  
さて、本競技会が、参加される皆様にとって、安心・安全な競技会となりますよう各団体で事前指導を徹底して参加いただけますようお願い申し上げます。  
つきましては、混乱やトラブルを避けるため、配付いたしました資料をご確認いただき、各団体関係者ならびに選手・保護者の皆様方に、周知徹底していただけますよう併せてお願い申し上げます。

記

### 1. 開催日時

令和8年6月6日(土)

### 2. 受付について

受付時刻：7：30～8：20(主陸上競技場正面玄関前 TIC)

役員受付：7：50分～8：10(正面玄関横)

※役員全体打ち合わせ 8時20分(全体・正面玄関前)

※主任打ち合わせは8時00分より役員室2で行います

### 3. 各種資料について

県中体連専門部HPからダウンロードをお願いします。【<https://jaaf-ibaraki.com>】

### 4. チームベンチについて

- (1) ベンチ抽選結果をご確認ください。
- (2) 前日からの場所取りは禁止とする。
- (3) メイン競技場メインスタンドへの集団での場所取りを禁止する。

### 5. 競技用シューズ規則 (TR.5.2) について

WA規則 TR5.2を適用する。

※**サークルから行われる投てき種目は、適応対象から除外する。**

規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。なお、疑義があった場合は検査等の確認を行う。

2025.03.03(月)競技用靴に関する規程 シューズチェックの運用の再周知(WA承認シューズリストについて)靴規程運用の補足より以下抜粋

承認シューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org>) に掲載され、使用開始日を経過し、使用可能種目に該当しているモデルと実際に使用された靴が合致していればワールドランキング対象競技会や靴規程を適用するその他の公認競技会で、競技会現場での測定をせず、使用が認めれます。シューズリストには「新しい靴」、「既存靴」、「開発段階の試作靴」(試作靴)が掲載されています。試作靴は使用可能期間内で指定された競技会に、承認された特定競技者しか使用することができません。「カスタマイズされた靴」(カスタム靴)も医療・安全上の理由で特定個人の競技者に承認されるものですが、新しい靴、既存靴、試作靴をもとにカスタムしているため、カスタム靴として別途のリスト掲載はありません。

参加選手はWA承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、招集所や選手受付などで、参加者全員のシューズチェックを行う必要はありません。ただし、審判「シューコントロール・オフィサー」または「審判長」の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、参加者はその指示に従わなければなりません。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがあります。万が一レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合があります。

### 6. 駐車場の利用について

路上駐車、枠外駐車は厳禁とする。下記指定駐車場に駐車をお願いします。

- ・バス・・・第4駐車場、第6駐車場 ※乗降含む
- ・一般車・・・第4駐車場、第6駐車場、第1駐車場

※一般車については、第4駐車場にも駐車可能ですが、台数に限りがあります。競技役員や引率等の方も、できるだけ第6駐車場へお願いします。

### 7. その他

- (1) 競技役員へのご協力をお願いします。また、服装については別で送付されている文書をご確認ください。
- (2) 欠場が決まっている者については、本人または代理人が、招集所に招集完了時刻までに申し出ること。  
※本競技会については欠場届を廃止致します。
- (3) 荒天等により中止や日程の変更がある際には、上記項目「3.」に記載のHPへの掲載と県中体連陸上競技専門部地区委員長を通してご連絡差し上げます。

【問い合わせ先】

茨城県中学校体育連盟  
陸上競技専門部各地区委員長



- 本競技会は、2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって行う。

## 競技規則及び競技者・指導者の注意事項

### 1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は ①トラック競技は開始予定時刻の40分前～20分前 ②フィールド競技は60分前～40分前とする。
- (2) 四種競技の招集は、最初の種目のみ上記（1）の時間で行う。次の競技からは、競技開始時刻に遅れないように注意して、招集所で競技者係の点呼を受けてから競技場所へ集合すること。（現地集合ではない。）
- (3) 招集所においてアスリートビブス(ナンバーカード)・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないので、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。
- (4) 欠場が決まっている者については、本人または代理人が、招集所に招集完了時刻までに申し出ること。
- (5) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

### 2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。四種競技については、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
4. 混成競技での「不正スタート」に関しては、審判長より警告（黄色黒）を与えられることがある。本大会ではこの場合、警告（黄色黒）2枚で当該種目のみを失格（赤黒）とし、それ以後の種目からは除外しない。
5. 800mはセパレートレーンで実施をする。
6. 3000mは、グループスタートとする。第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。
7. バーの上げ方（天候等の状況によっては、変更する場合もある）

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある）

男子四種：1m15-20-25-30-35-40-45-50-55 ……以降3cmずつ

女子四種：1m00-05-10-15-20-25-30-35 ……以降3cmずつ

共通男子：1m15-20-25-30-35-40-45-50-55-60-65-70 ……以降3cmずつ

共通女子：1m00-05-10-15-20-25-30-35-40-45 ……以降3cmずつ

◇棒 高 跳

共通男子：2m00-20-40-60-70 ……以降10cmずつ

共通女子：1m80-90-2m00-10-20 ……以降10cmずつ

8. 円盤投は投てき場、ジャベリックスローはメイン競技場で競技を行う。

9. 競技用シューズの規定について ※四種競技も同様。

- (1) WA規則 TR5.2 を適用する。

※サークルから行われる投てき種目は、適応対象から除外する。

- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。なお、疑義があった場合は検査等の確認を行う。

### 10. AD規制について

メイン競技場・補助競技場・投てき場への入場は、選手・競技役員・補助員及び指導者のみとする。ただし、指導者のメイン競技場への入場は、練習開放時間のみとする。

### 11. その他

- (1) トラック競技の出場者は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカードを、招集所で競技者係から受け取り、パンツの右横（800m以上の競技については両腰）、やや後方に付けること。フィニッシュ後、係に返却すること。
- (2) 選手は、第4ゲート（200mスタート付近）からの入退場及び第1ゲート（100mスタート後方）から退場することができる。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲート（200mスタート付近）又は第1ゲート（100mスタート後方）から退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- (3) アスリートビブス(ナンバーカード)の数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳、棒高跳および走幅跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- (4) 大会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- (5) スタンド最前列や通路で立ち止まっての観戦は禁止とする。
- (6) メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置についてはサイド・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- (7) ウォーミングアップについては『練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- (8) 朝の練習開放時間帯は第1・3・4ゲートを開放する。
- (9) 複数種目エントリーしていて、競技時刻や招集時刻が重なっている場合は、事前にその趣旨を招集所及び現地の役員に申し出ること。※フィールド種目の復帰については、審判長の判断とする。

# 第 34 回混成競技大会兼第 183 回県中学記録会

## 練習会場の使用について

### 【メイン競技場】

#### 1 日 時

令和 8 年 6 月 6 日（土） 7：30～8：40

※メイン競技場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

#### 2 使用方法

##### (1) ホームストレート（トラック内側への横断は禁止とする）

- 1～2 レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）
- 3～5 レーン スタートダッシュ（スターティングブロック設置）
- 6～7 レーン 110mH（スターティングブロック設置）
- 8～9 レーン 100mH（スターティングブロック設置）

##### (2) 第1曲走路～バックストレート

- 1～2 レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）
- 3～6 レーン リレー
- 7～9 レーン 400mスタートダッシュ（スターティングブロック設置）

※事故防止のため、レーンに立ち止まったり、レーンを歩いて戻ったりすることを禁止する。

##### (3) 第2曲走路

- 1～2 レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）
- 3～6 レーン リレー
- 7～9 レーン 200mスタートダッシュ（スターティングブロック設置）

※事故防止のため、3～9 レーンにおいては、第2曲走路からホームストレートへ走り込むことを禁止する。

##### (4) フィールド内

- ①走幅跳は、ホームストレート外側の2ピットが使用できる。
- ②走高跳は、第2曲走路内の2ピットが使用できる。
- ③棒高跳は、バックストレート外側の1ピットが使用できる。
- ④砲丸投は、第1曲走路内の1ピットが使用できる。
- ⑤ジャベリックスローは、第1曲走路内の1ピットが使用できる。

※円盤投は、投てき場のみ使用できる。

#### 3 注意事項

- (1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、第2曲走路からホームストレートへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員の指示に従い、事故のないように注意する。
- (2) アップや動きづくりは芝生内又は補助競技場を使用する。
- (3) 選手・競技役員・補助員及び指導者以外の立ち入りを禁止する。
- (4) 傘の使用は他の迷惑にならないように十分注意すること。状況によっては使用を制限する場合があるで、指示に従うこと。
- (5) 「使用方法」で表記した場所や方法以外での、競技場備え付け用具の使用及び練習は禁止とする。

## 【補助競技場】

### 1 日 時

令和8年6月6日（土） 7：30～16：30

※補助競技場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

### 2 使用方法

(1) ホームストレート（トラック内側への横断は禁止とする）

1～2レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）

3～6レーン スタートダッシュ（スターティングブロック設置）

7レーン 110mH（スターティングブロック設置）

8レーン 100mH（スターティングブロック設置）

※混雑具合によっては、レーン使用を変更する場合もある。

(2) 第1曲走路～バックストレート

1～2レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）

3～5レーン リレー

6～8レーン 400mスタートダッシュ（スターティングブロック設置）

※事故防止のため、レーンに立ち止まったり、レーンを歩いて戻ったりすることを禁止する。

(3) 第2曲走路

1～2レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）

3～5レーン リレー

6～8レーン 200mスタートダッシュ（スターティングブロック設置）

※事故防止のため、3～8レーンは、第2曲走路からホームストレートへ走り込むことを禁止する。

(4) フィールド内

①走幅跳は、第1曲走路外側（体育館側）の1ピットが使用できる。

②走高跳は、第1曲走路内の1ピットが使用できる。

※棒高跳の練習は、メイン競技場内のみ使用できる。

※砲丸投の練習は、メイン競技場及び、投てき場のみ使用できる。

※円盤投の練習は、投てき場のみ使用できる。

※ジャベリックスローの練習は、メイン競技場内のみ使用できる。

### 3 注意事項

(1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、第2曲走路から直線スタートダッシュレーンへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員の指示に従い、事故のないように注意する。

(2) アップや動きづくりは芝生内を使用する。

(3) 選手・競技役員・補助員及び指導者以外の立ち入りを禁止する。

(4) 傘の使用は他の迷惑にならないように十分注意すること。状況によっては使用を制限する場合があるので、指示に従うこと。

(5) 「使用方法」で表記した場所や方法以外での、競技場備え付け用具の使用及び練習は禁止とする。

## 【投てき練習場】

### 1 日 時

令和8年6月6日（土） 8：00～13：10

※投てき練習場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

### 2 使用方法

(1) 投てき練習（砲丸・円盤投のピットが使用できる。）

(2) 上記（1）以外の練習については、メイン競技場または補助競技場を使用すること。

(3) 練習用の砲丸・円盤は、会場備え付けのものを使用すること。

### 3 注意事項

(1) 選手のみでの投てき練習を禁止する。練習会場係の指示に従って安全に行うこと。

(2) 会場内への練習用具は、個人での持ち込みを禁止とする。

(3) 選手・競技役員・補助員及び指導者以外の立ち入りを禁止する。

(4) 「使用方法」で表記した場所や方法以外での、競技場備え付け用具の使用及び練習は禁止とする。



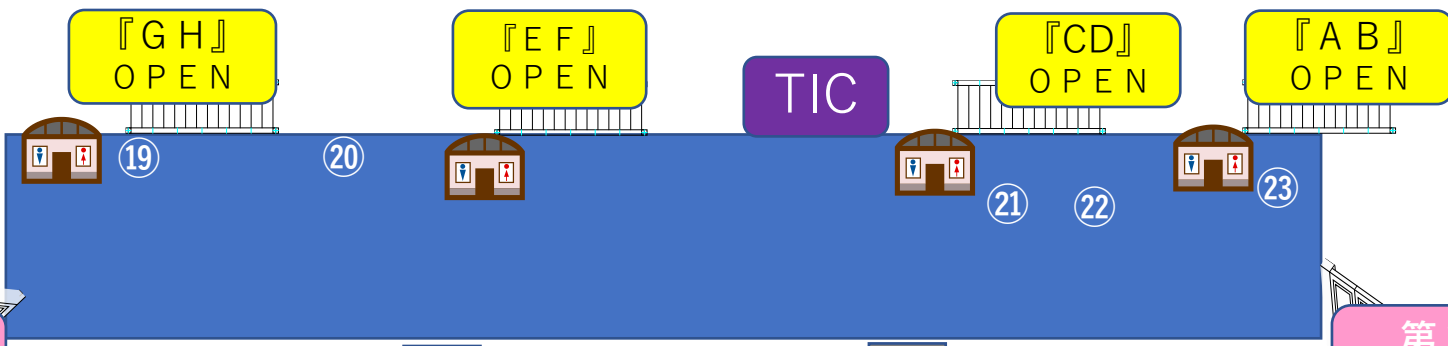
TIC

学校受付・抗議受付  
※健康チェック表の提出はしない

①～③① ベンチ抽選専用設置箇所

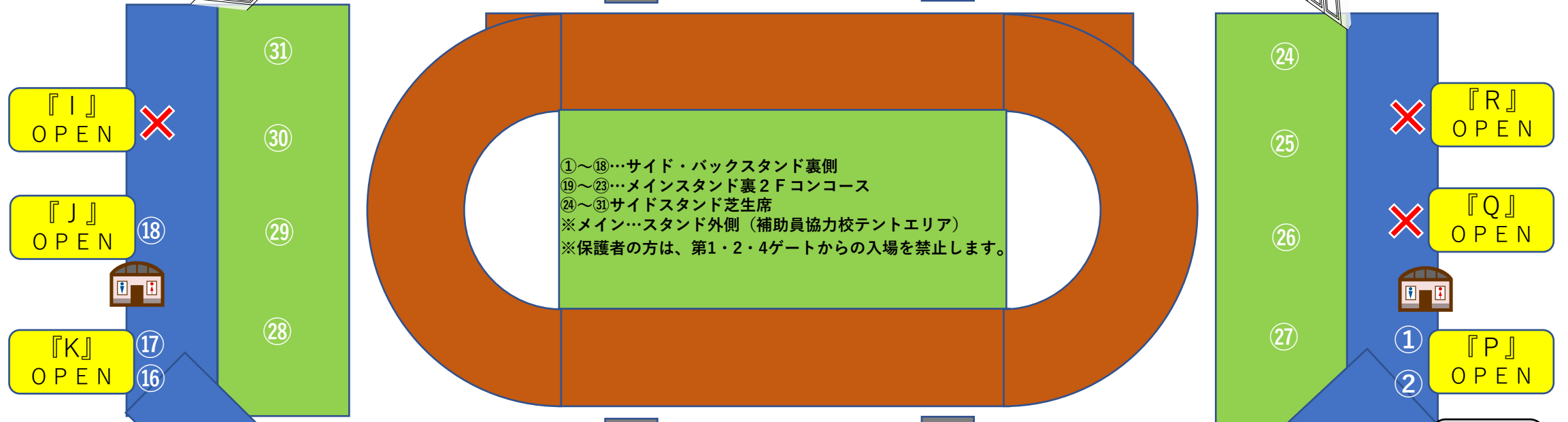
✕ ベンチ設置不可（通路）

水戸信用金庫スタジアム  
主陸上競技競技場  
会場図



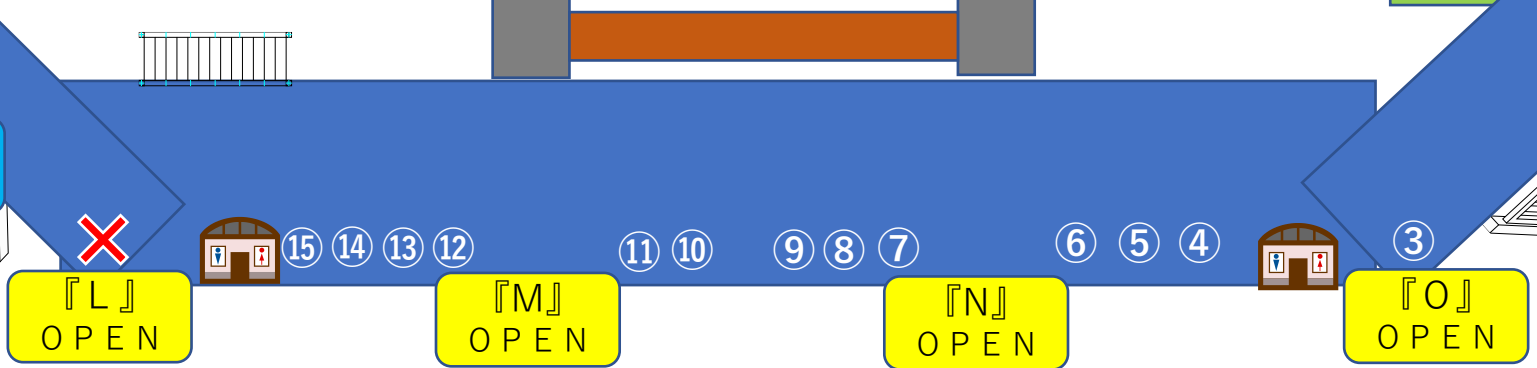
第2ゲート  
選手 退場口

第1ゲート  
選手 退場口



第3ゲート  
CLOSE

第4ゲート  
選手 入退場口



招集所

2026.6.2

## 第183回茨城県中学校陸上競技記録会 チームベンチ抽選結果6月2日(火)

厳正なる抽選の結果,下記の通り設置箇所が決まりましたのでお知らせいたします。

1 手代木	14 竹来
2 並木	15 中郷
3 竹園東	16 明光
4 学園の森	17 下館南
5 阿見	18 岩井中
6 銚田南	19 谷田部
7 茨城キリスト	20 谷田部東
8 高山	21 朝日
9 神栖JAC	22 ひたち野うしく
10 土浦二	23 八千代一
11 下根	24 友部
12 赤塚	25 田彦
13 水戸四	

1. 本記録会の指定ベンチについては「①～③」となります。
2. メインスタンド裏(外側及び「AB」「GH」階段踊り場)は、主催者より依頼された補助員協力校に開放します。  
補助員協力のない学校(団体)はフリーテントエリアをご利用ください。
3. フリーテントエリア  
・中央広場、花壇広場
4. フリーテントエリアの場所取りについては、当日行ってください。
5. テント・シート等が飛ばされないようにしてください。
6. 指定ベンチより抽選チームが少ない場合は、空き番号の指定ベンチをフリーエリアとします。
7. 主陸上競技競技場会場図のベンチ設置不可(通路)のエリアについてご確認お願い致します。

# 緊急時の避難について

地震及び火災発生時、雷発生時及びJアラート発令時に際して、各施設の非常口や避難経路を確認して避難してください。(別紙会場図も参照してください)

## ◎地震及び火災発生時…原則屋内から屋外へ避難

(施設)	(避難場所)
○主陸上競技場競技場(1階施設内)	⇒ 主陸上競技場芝生部分へ避難後、揺れが収まってから補助陸上競技場へ避難
○主陸上競技場(メインスタンド)	⇒ メインスタンド2階コンコースへ出て、階段を下り、主陸上競技場正面前広場へ避難
○主陸上競技場(バックスタンド)	⇒ ゲートを出て、投てき場練習場中央へ避難
○主陸上競技場 (補助陸上競技場側サイドスタンド)	⇒ ゲートを出て補助陸上競技場芝生中央へ避難
○主陸上競技場 (ゴール側サイドスタンド)	⇒ ゲートを出て主陸上競技場正面前広場へ避難
○補助陸上競技場	⇒ 補助陸上競技場芝生部分へ避難
○投てき練習場	⇒ 投てき練習場中央へ避難
○体育館	⇒ 補助陸上競技場芝生中央へ避難

## ◎雷発生及びJアラート発令時…原則屋外から屋内へ避難

(施設)	(避難場所)
○主陸上競技場	⇒ スタンド下へ避難
○主陸上競技場(スタンド)	⇒ コンコース及び、スタンド下へ避難 ・メインスタンド ⇒ 2階コンコースへ避難 ・サイド・バックスタンド ⇒ スタンド下へ避難
○補助陸上競技場	⇒ 第2ゲートを抜けて体育館へ避難
○投てき練習場	⇒ 主陸上競技場バックスタンド下、体育館、山新スイミングアリーナのいずれかへ避難

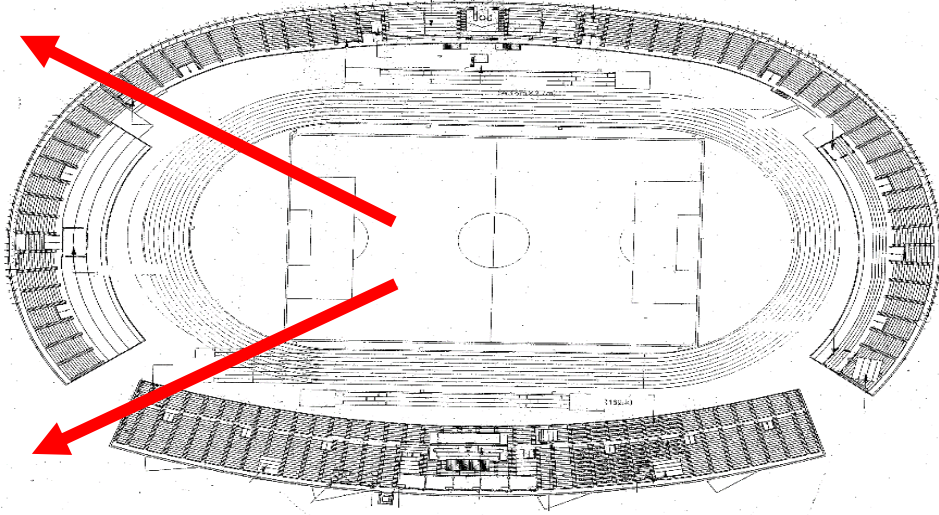


# 笠松運動公園 地震及び火災発生時の避難経路及び避難場所

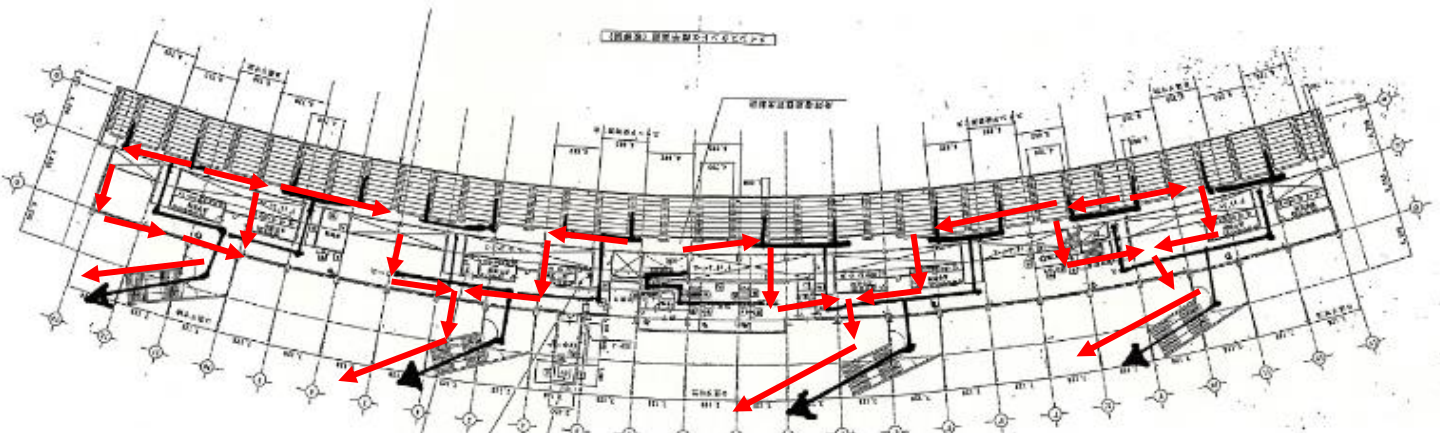
## ◎原則、屋内から屋外へ避難

### ①主陸上競技場（1階レベル）

芝生中央へ避難し、揺れが収まってから第1、または第4ゲートを通して補助陸上競技場芝生中央へ避難



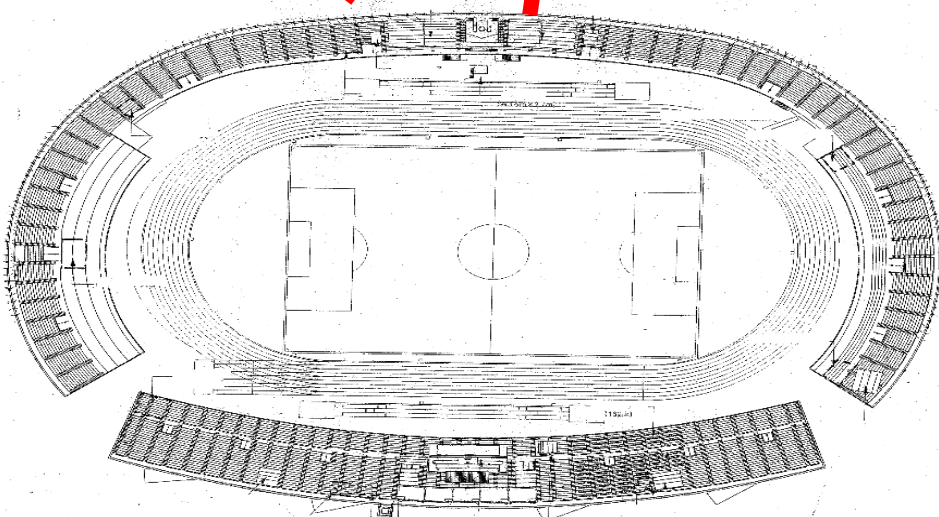
### ②主陸上競技場（メインスタンド） ⇒ 各ゲートから出て、主陸上競技場正面前広場へ避難



### ③主陸上競技場（バックスタンド）

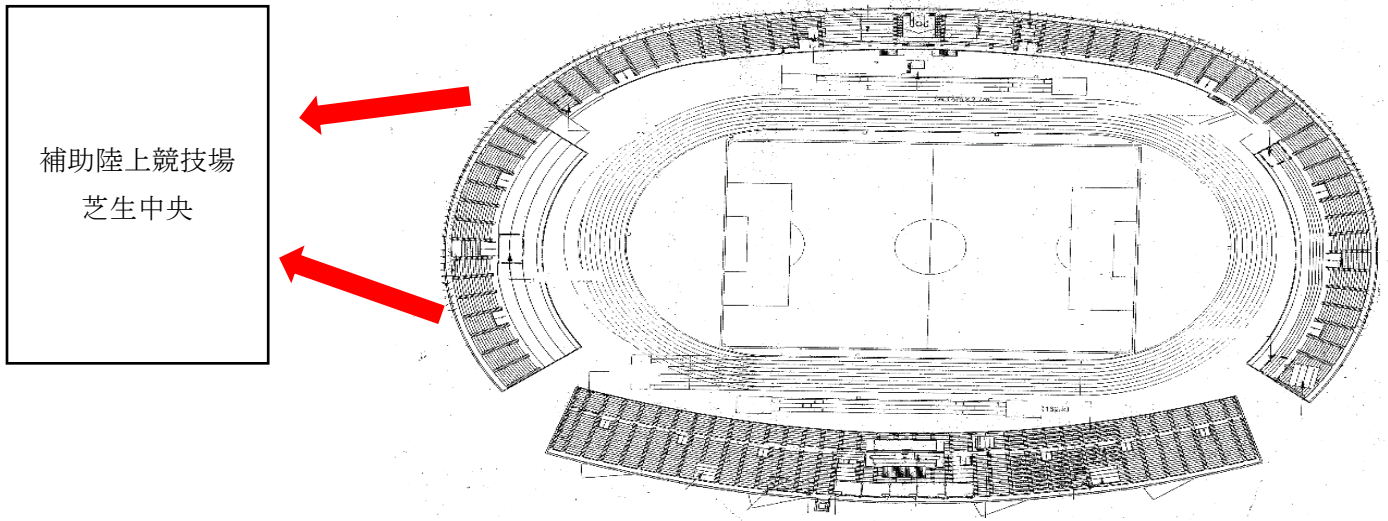
各ゲートを出て投てき練習場中央へ避難

投てき練習場中央



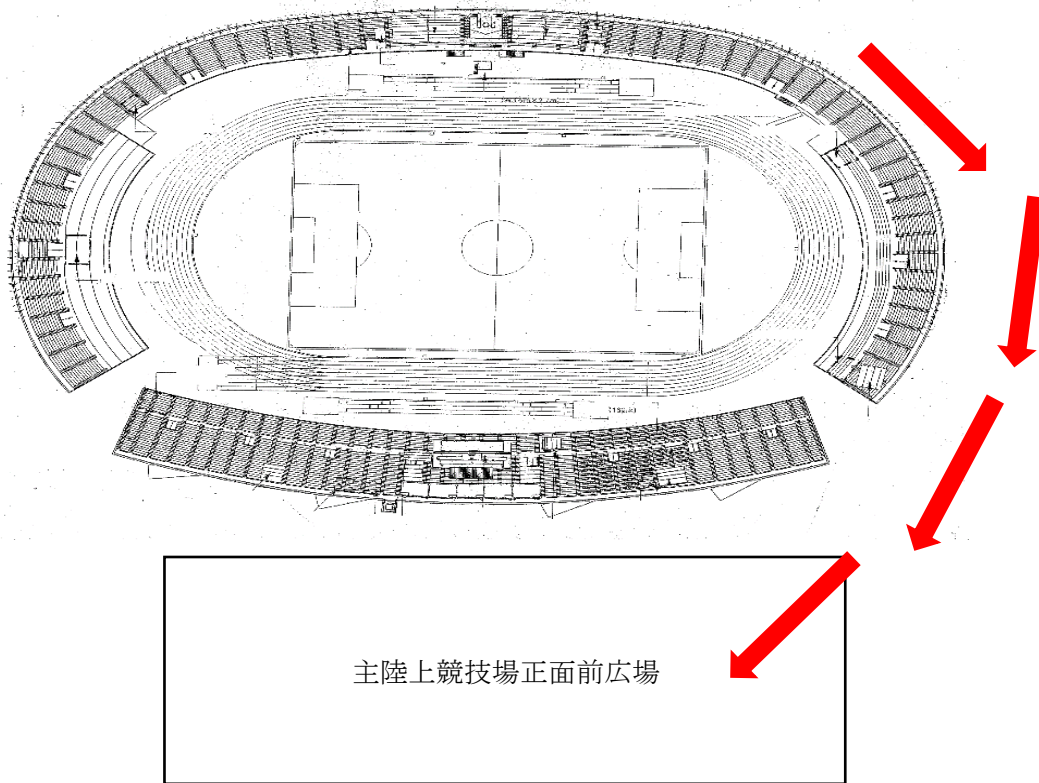
④主陸上競技場（補助陸上競技場側サイドスタンド）

各ゲートを出て補助陸上競技場芝生中央へ避難



⑤主陸上競技場（ゴール側サイドスタンド）

各ゲートを出て主陸上競技場正面前広場へ避難



⑥補助陸上競技場 ⇒ 補助陸上競技場芝生中央へ避難

⑦投てき練習場 ⇒ 投てき練習場中央へ避難

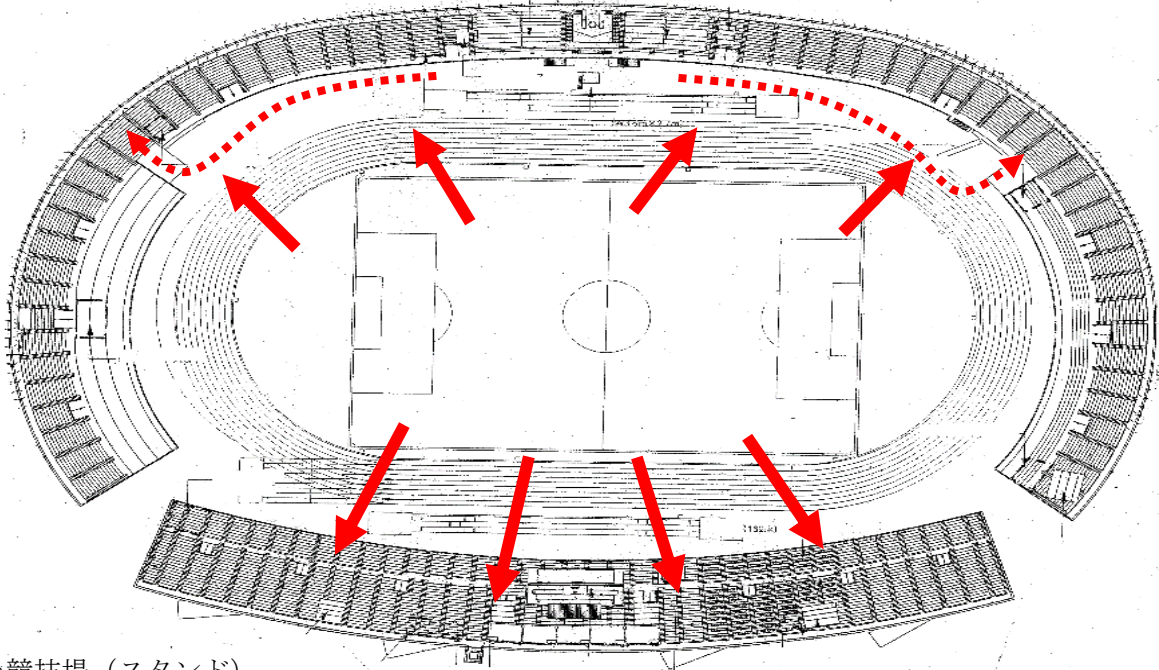


# 笠松運動公園 雷発生時及びJアラート警報時の避難経路及び避難場所

## ◎原則、屋外から屋内へ避難

### ①主陸上競技場内

ホームストレート側はメインスタンド下へ避難、バックストレート側は第3ゲート及び第4ゲートへ避難

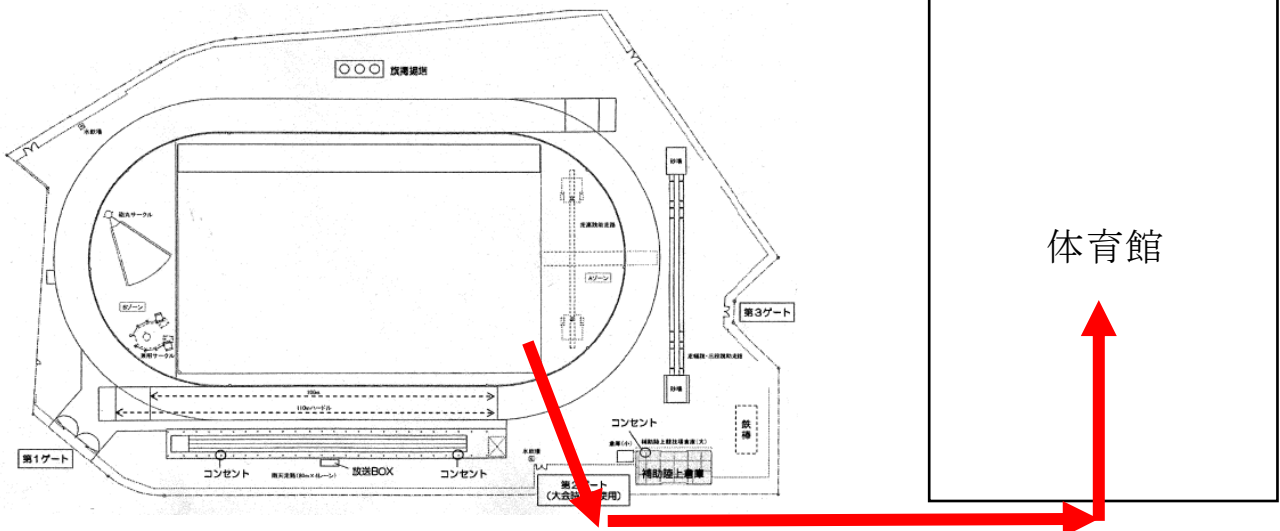


### ②主陸上競技場 (スタンド)

- メインスタンド ⇒ 2階コンコースへ避難
- サイド・バックスタンド ⇒ スタンド下へ避難

### ③補助競技場

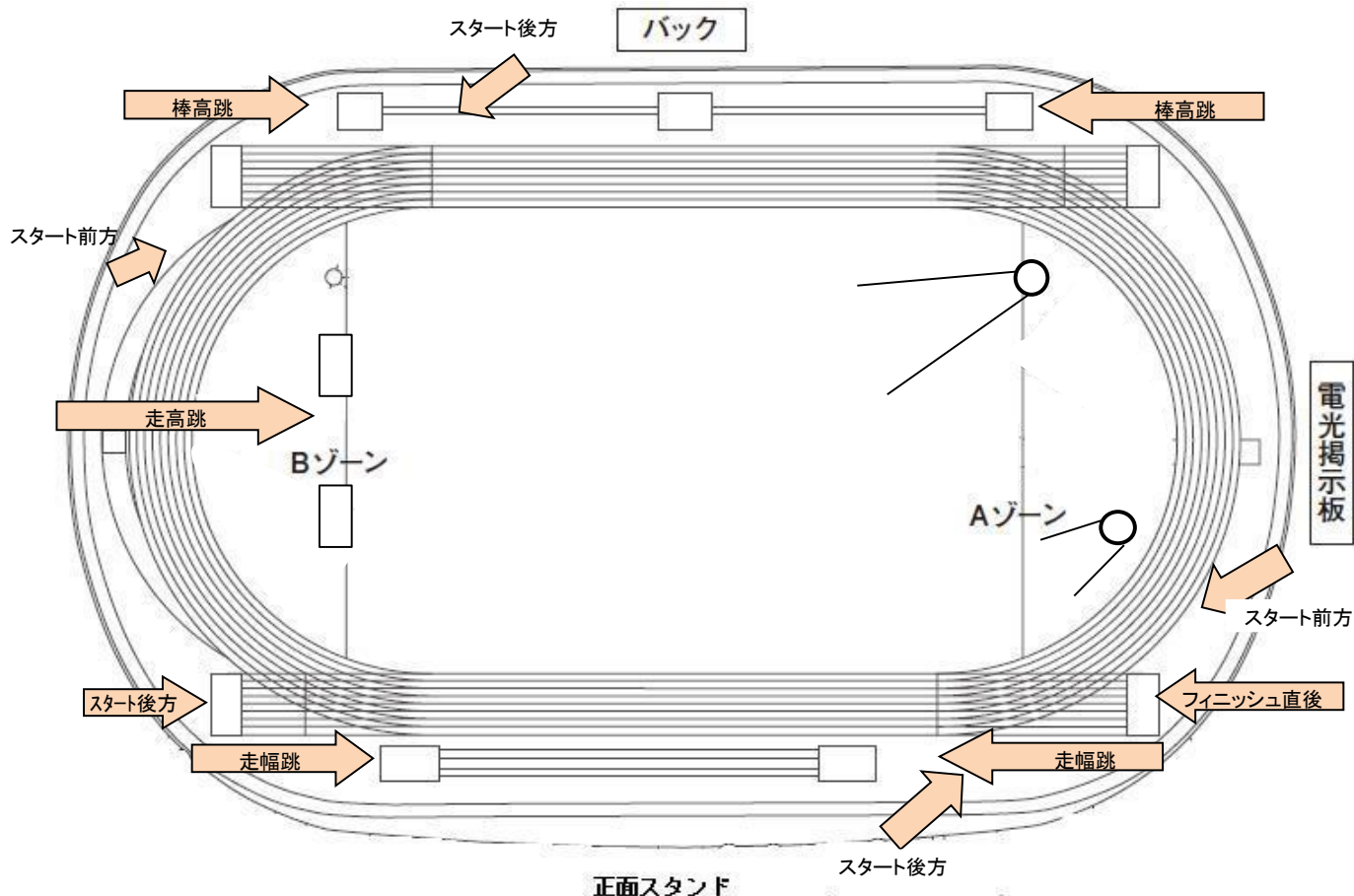
⇒ 第2ゲートを抜けて体育館へ避難



### ④投てき練習場

⇒ バックスタンド下・体育館・山新スイミングアリーナのいずれかへ避難

## 撮影に関するお願い(来場者・参加団体関係者のみなさま)



### ◆選手の肖像権・人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

1. 競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影を禁止します。撮影はすべて、スタンド上から行ってください。
2. 以下の撮影行為はご遠慮ください。
  - ・競技者の同意を得ない関係者外の撮影。
  - ・競技に集中できないと、競技者から苦情がでるような撮影
  - ・体の一部を拡大しての撮影。
3. 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。上記の図は、禁止とする撮影方向の一例です。
  - ・トラック種目のスタート時・フィニッシュ直後…前方・後方からの撮影
  - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方(砂場正面)からの撮影
  - ・走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)からの撮影
  - ・砲丸投、円盤投…競技者正面からの撮影
4. 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時の撮影を禁止します。
5. 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。
6. 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます場合があります。
7. 競技運営上、競技役員判断により、上記以外に撮影禁止エリアを設ける場合があります。
8. その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により大会当日も含め変更する場合があります。その際は競技役員指示に従ってください

\* 盗撮行為を発見された場合、お近くの競技役員までお知らせください。  
また、発見次第、記録媒体没収の上、所轄警察署に通報します。